

アメリカの地方都市を再生させた「メインストリート・プログラム」とは――

全米 45 州で公認され、実践されている「地方創生戦略」

「メインストリート・プログラム」は 1970 年代後半にダウNTOWN（≒概ね日本の商店街と言われる地域とその周辺地区）の疲弊状態を危惧し、再活性化を希望する市民の声から始まりました。1980 年に独特の「4 ポイント・アプローチ」手法が開発され、「メインストリート・プログラム」と命名されたこの包括的・普遍的な取り組み手法は、全米 45 州とワシントン DC やボストン等の大都市において、ダウNTOWNのみならず周辺エリアを含めた地方創生戦略の中心として実践され、これまでに 2,000 を超える地域を再生させてきました。

2024 年現在、メインストリート・アメリカ（メインストリート・プログラムの全米本部）から正式に認定された地域は 1,275 地域で、加えて認定に向けて活動している地域も 1,000 地域を超えています。地方創生に“やる気のある”地域は、公民連携を軸に同プログラムの認定に向け活動しており、認定後に享受できる多様なインセンティブを活用して成果をあげている事例を、全米各州、各地で見ることができます。

メインストリート・プログラムの特徴

メインストリート・プログラムの特徴を簡単に紹介したいと思います。まずは先に書きましたが「4 ポイント・アプローチ」という包括的・普遍的な手法です。ダウNTOWN再生に向けた取り組みの中で根幹となる 4 つの事業分野（持続可能な組織、歴史的景観の保持など）を選び、事業を進めていくもので、これがメインストリート・プログラムの「一丁目一番地」です。その他の特徴は以下の通りです。

※明確な地域活性化ビジョンの策定

※幅広い公民連携による事業推進体制の構築

※持続可能な組織とプロフェッショナル人材の育成

※豊富な補助金・助成金プログラム

※全米規模のネットワーク化による情報共有

※「地域変革戦略」を開発し対象地域の拡大

※理事会メンバーからボランティアまで各階層での教育プログラムの提供

実績が物語るメインストリート・プログラムの戦略効果

2024 年のメインストリート・プログラムの実績

対象地域への投資総額（公民）	新規事業所数（純増ベース）	新規雇用者数（純増ベース）
1 兆 1,250 億円	6,324 社	33,834 人
修復・保全建築物数	ボランティアの活動時間	\$1 当たりの投資効果
10,126 棟	190 万時間	\$21.73

※メインストリート・アメリカ（本部）より「メインストリート・プログラム」として認定された地域（全米 1,275 地域）での実績を表している。（\$1=150 円で計算）

上記の表はメインストリート・プログラム公認の全米 1,275 地域での 2024 年 1 年間の主な実績です。まずは公的資金と民間投資が活性化のためにいくらか行われたかについてですが、総計で 1 兆 1,250 億円、1 地域ごとの投資総額は単純平均で、8.82 億円となります。また新規事業所 6,324 社が純増し、修復や保全された歴史的建造物を含む中古物件も 1 万棟を超える実績を示しました。これらの数値からも「メインストリート・プログラム」の手法が評価され、多くの地域で実践されている証であるとも言えます。

今般は多くの皆さんにメインストリート・プログラムを実践している各地域に行って活性化の事例を見ていただき、ご自分の街の活性化に役立ててほしいと思い、昨年に引き続き視察ツアーを企画いたしました。

参加希望やツアー詳細などは、右頁問い合わせ先へご連絡ください。

メインストリート・マネジメント・リサーチ合同会社
代表社員 松本 博之

筆者プロフィール：1982年武蔵野銀行入行、1995年ぶぎん地域経済研究所へ出向し調査事業部長、取締役研究主幹を経て2021年6月に退職。翌7月にメインストリート・マネジメント・リサーチ合同会社を設立。2009年よりメインストリート・プログラムの研究を開始し、調査・研究のため、ほぼ毎年渡米し各地のメインストリート・プログラムを訪問。各州政府やメインストリート・アメリカ（本部）を含めて、独自のパートナー・ネットワークを構築する。国内でのメインストリート・プログラムの啓発事業、同手法による地方都市の活性化のためコンサルティング業務を続けている。



2025 Main Street Program(メインストリート・プログラム)視察ツアー

アメリカ中西部・アイオワ州・イリノイ州 7日間

アメリカ中小都市の地方創生の現場を体感しよう！



ワシントン州政府策定 4ポイントアプローチ図

	日程表
1日目 9/8 (月)	羽田空港10:55—JAL012—ダラス空港08:35 ダラス空港13:31—AA1664—デモイン空港15:17 タクシーにてデモイン市街地へ 朝：× 昼：機内 タ：× デモイン(泊)
2日目 9/9 (火)	午前：専用車にてメインストリート・プログラム アイオワ州政府訪問 午後：専用車にてメインストリート・プログラム エイムス市視察 朝：ホテル 昼：× タ：× デモイン(泊)
3日目 9/10 (水)	午前：専用車にてシダーフォールズへ移動(所要約3時間) 午後：専用車にてメインストリート・プログラム シダーフォールズ市 視察後、ダビュークへ移動(所要約2時間) 朝：ホテル 昼：× タ：× ダビューク(泊)
4日目 9/11 (木)	午前：専用車にてシカゴ移動 午後：専用車にて、道中、イリノイ州内の メインストリート・プログラムを2か所視察予定 朝：× 昼：× タ：× シカゴ(泊)
5日目 9/12 (金)	午前：メインストリート・プログラム・アメリカ本部訪問 午後：オプションツアー MLB【シカゴ・カブスvsタンパベイ・レイズ】観戦 ※別途2万円程度(実費)がかかります 朝：× 昼：× タ：× シカゴ(泊)
6日目 9/13 (土)	タクシーまたは地下鉄にて空港へ シカゴ・オヘア空港12:10—JAL055— 朝：× 昼：× タ：機内食 機中(泊)
7日目 9/14 (日)	一成田空港15:15 お疲れさまでした ※なお、先方の都合により視察先が変更となる場合もあります。

アメリカの地方都市を再生させた メインストリート・プログラム

1980年に荒廃した地方都市のダウントウン再生の戦略・手法として開発されました。現在、全米45州1,200を超える自治体・地域で実践されています。

【特徴】

- 明確な地域活性化ビジョンの策定
- 幅広い公民連携による事業推進体制の構築
- 独特の「4ポイント・アプローチ」による包括的・普遍的な取り組み手法
- 持続可能な組織とプロフェッショナル人材の育成
- 全米規模のネットワーク化による情報共有
- 豊富な補助金・助成金プログラム
- 理事会メンバーからボランティアまで各階層での教育プログラムの提供
- ダウントウンのみならず自治体全体の活性化に向けた「地域変革戦略」を開発し新たに展開中

是非、アメリカでの成功事例を見ていただきあなたの街の活性化事業の参考にして欲しい

メインストリート・マネジメント・リサーチ合同会社



松本 博之氏

当社は地域(コミュニティ)の再活性化のためのコンサルティング業務を事業の柱として起業しました。アメリカにおいて40年間で2,000以上の中小都市のダウントウンを活性化させた「メインストリート・プログラム」に注目し、この手法を活かした地域の活性化を提案しています。

視察内容に関するお問い合わせ

メインストリート・マネジメント・リサーチ合同会社
〒330-0802 さいたま市大宮区宮町 1 丁目 5 銀座ビル 7 階
担当：松本 Mail: 57h.matsumoto@jcom.zaq.ne.jp